

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南4-9-5
 JR東海品川ビル8階3F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

新規組合員の皆さんの加入を歓迎します！

尾内中央執行委員長からのメッセージ



尾内中央執行委員長長

JR東海ユニオンに、ご加入いただいた新規組合員のみならず、JR東海への入社誠におめでとうございます。そして、JR東海ユニオンへの加入を心より歓迎いたします。

JR東海は、発足以来、諸先輩方の弛まぬ努力の積み重ねにより、高いレベルでの安全・安定輸送を確立し、世の中に高く評価される鉄道会社へと進化してきました。また、JR東海ユニオンは、JR東海と「将来につながる共同宣言」を締結し、将来にわたる「会社の発展と組合員・家族の幸せの実現」を最大の目標とし、健全で強固な労使関係のもと、組合員から寄せられた意見や提言に基づき、労使協議を

展開し、数多くの課題解決に取り組んできました。また、今後を見据えれば、リニア中央新幹線、東海道新幹線、在来線の3世代の鉄道を運営する会社として、更に成長を続けていかなければなりません。ぜひ、みなさんと力を合わせて、より良い会社、更に魅力ある会社へと成長させていきたいと思っております。

もって仕事ができるようにサポートすることです。どんな些細なことでも組合役員に相談してください。また、先輩組合員もみなさんのことを見守っています。JR東海ユニオンでは、職種や系統を超えた仲間作りができる、様々な活動も行っています。ぜひ積極的に参加していただき、多くの仲間と知り合うことで、みなさんの会社生活を更り多きものにしていただきたいと思います。

これから一緒に活動していきましよう！

経営懇談会「令和3年度期末決算」を開催

4月27日、「令和3年度期末決算」について経営懇談会を行い、会社と議論を展開した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた外出及び移動の自粛等の影

交渉のようす



響により、当社・グループ会社ともに引き続き極めて厳しい経営環境が続く中、連結営業収益は9351億円（前年比+13.6%）と、増加に転じたものの依然として低水準となった。加えて、引き続きグループ会社も含めた費用削減を強力に推進したこともあり、営業利益は17億円確保したものの、経常損益▲672億円、親会社株主に帰属する当期純損益▲519億円の損失を計上し、2期連続の赤字決算となった。

経営懇談会においては、今次業績に関する会社の見解を詳細に確認するとともに、令和4年度の事業運営の見通し等についても広範な議論を展開した。

□令和3年度期末連結決算の概要

科目	実績	前年度との差異	増減率
営業収益	9,351億円	+1,116億円	+13.6%
営業損益	17億円	+1,864億円	—
経常損益	▲672億円	+1,947億円	—
親会社株主に帰属する当期純損益	▲519億円	+1,496億円	—

ために、引き続き意見交換を重ね、将来宣言に基づいた労使関係をより強固なものとしていくことをあらためて相互に確認した。